

事務局 〒028-3310 紫波町日詰駅前1-10-2赤石公民館内 Tel 019-676-3999 会長 高橋敬明 Tel 090-3125-3776

—岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット17頁—

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

◀山屋館経塚(紫波町山屋字山口)(1)▶

平成7年に道路改良工事によって発掘調査がおこなわれました。埋納された陶器から、12世紀の経塚と理解されます。経塚は東から西に伸びる尾根上に張り出す丘陵の端部（標高431～434m）に立地します。経塚は4基が東西に連なって連結しており、調査者によって東側から、1号、4号、2号、3号の名称が付されています。塚はいずれも積み石塚であり、最大の2号塚は直径400×500cm、高さ100cm未満の規模です。1号～3号経塚は盗掘されており、完全な納経の状態は壊されていましたが、4号経塚は未盗掘で、納経の状態が良好に保たれていました。

◀◀◀ 11月～12月行事予定のお知らせ ▶▶▶

<p>11月21日 (水曜日)</p>	<p>第97回月例発表会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 発表者：金 濱 興 一 テーマ：樋爪川 発表者：石 幡 信 テーマ：紫波郡の城館 3</p>
<p>12月 2日 (日曜日)</p>	<p>第21回定期講演会</p> <p>※ 参加申込み 会員以外の方は、11月25日までに、赤石公民館 Fax 019-676-3999 へ</p> <p>※ お問い合わせ 090-3125-3776(高橋)</p>	<p>時刻／午後2時から午後4時まで (受付開始時刻：午後1時30分)</p> <p>会場／紫波町赤石公民館ホール</p> <p>講師／岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 文化財専門員 西 澤 正 晴 氏</p> <p>演題／樋爪館関連遺跡の発掘調査について (仮題)</p> <p>参加料／500円 ※会員200円 当日受付にて</p> <p>◎ 講演会終了後、講師を囲む参加者交流会を開催 (会費1,000円) します。</p>

◀◀◀ 設立10周年記念行事 ▶▶▶

☆1 埼玉県在住の樋爪克好様から嬉しい電話をいただきました。平成27年に御親族の樋爪姓の方々が一緒に紫波町を訪れたことがあり、樋爪さんサミットの企画を知り大いに盛り上がったと話しておられました。

皆様が来訪された折には、紫波町へ樋爪館跡の五郎沼整備資金として、ご寄付されたことが紫波町広報誌「紫波ネット」に掲載されていました。来年のサミットにも皆様が参加くださり、賑やかで実り多い集りになればと期待申し上げます。

☆2 当会が発足当初からご指導をいただいている羽柴直人さんに、シンポジウムのテーマや人選について協力をお願いすることができました。樋爪に関する基調講演を東北大学大学院教授の柳原敏昭氏に依頼し内諾を得て、パネリストの構成を検討する段階に入っています。

【北日詰東ノ坊 I 遺跡発掘調査報告書】(3) <平成19年3月 紫波町教育委員会>

2 北日詰東ノ坊 I 遺跡発掘調査 (3) まとめ

北日詰東ノ坊 I 遺跡の南隣には、比爪館遺跡が広がっており両遺跡間には比爪館遺跡を三方から囲むように大溝が走っている。したがって、本遺跡と比爪館遺跡との関連性を疑いながら調査を行った。

竪穴住居跡 竪穴住居跡は、1棟確認された。住居東側を井戸2基に、カマドの一部を溝にそれぞれ切られていたが、カマド炊き口周辺を中心として多数の遺物が出土している。規模は、測定可能ところで東西方向約3.5m、南北方向約4.5mであり大きな住居ではない。出土遺物は、土師器、長胴甕、赤焼き坏・甕で、種別・形体などの特徴から9世紀末から10世紀代のものと推測される。

◆ 平成30年度第2回会員研修「紫波から盛岡城下へ移転した寺院(廃寺跡)等を巡る」

9月30日(日)に予定どおり行われました。各お寺さんでは住職様から親切に貴重な説明や案内をしていただくことができました。



また、会員の宮さんが大莊厳寺跡と新山寺跡を、中野さんが高水寺跡を、自作の資料をもとに分かりやすく現地案内をしてくれました。

当日はあいにく小雨の続く天候で、愛宕山展望台でとるつもりがバスの中に変更となり、休憩時間を十分とれない強行日程でしたが皆さんの協力で参加者15名、全員が無事に研修を終えることができましたと思っています。

◆ 紫波一中ゆうごうセミナー(協力事業)

10月2日(火)の午前中に行われ、郷土史のグループは1年生の男子5名・女子7名、計12名の参加でした。当会の高野修、大沢斗志子、高橋敬明が講師として協力。参加生徒さんたちからは、次のような感想(アンケート要約)が寄せられました。



- * 楽しく見学しながら郷土の歴史を学ぶことができた。
- * 他のクラスの人や講師の人と交流することができた。
- * 一番興味がわいたのは五郎沼の石の伝説だった。
- * 一番、蓮のことに興味を持った。
- * 五郎沼以外の紫波町の歴史も知りたい。
- * 紫波町には、たくさんの歴史があることを知った。
- * 今回の学習で、紫波町の新しい一面を発見できた。
- * 歴史を知って紫波町がもっと好きになった。
- * 郷土について様々なことがわかった。
- * いろんなことを知ることができ面白かった。

◆ 北上川堤防工事関連の発掘調査

6月28日(木)本会第1回会員研修、7月28日(土)県埋文現地説明会、9月12日(水)赤石公民館第2回樋爪館入門講座、と本年度3回の見学機会がありました。現在、城内 I 遺跡の北端まで調査が進み 外堀跡や内堀跡の底面が現れ古の姿を見せています。

